

新型コロナウイルス感染症の院内感染（クラスター）事案の発生について  
（独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター 第1報）

独立行政法人国立病院機構 奈良医療センターにおいて、入院患者7人及び職員8人の感染が判明しました。

感染状況及び調査結果から、入院病棟 A において院内感染が、入院病棟 B において院内感染（クラスター）が発生したと判断しました。

なお、入院病棟 A については、濃厚接触者等に対して健康観察を行ってきましたが、当該期間が終了し、新たな感染者の発生は確認されていません。よって入院病棟 A の院内感染事案は終結しました。

1 発生場所

独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター  
（所在地 奈良市七条二丁目789番地）

2 感染者の概要（合計15人）

(1) 経緯

入院病棟 A 7月29日、職員1人が咽頭痛を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。同入院病棟に関係する職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者3人及び職員2人（初発感染を含む）の計5人の感染を確認しました。

入院病棟 B 8月1日、入院患者1人が発熱等を認め、検査を行ったところ感染が判明しました。同入院病棟に関係する職員及び入院患者を対象に検査を行った結果、入院患者4人（初発感染者を含む）及び職員6人の計10人の感染を確認しました。

(2) 感染者（計15人）

ア 入院患者7人（市内6人、市外1人）

【内訳】

性別：男性4人、女性3人

年代：40代1人、50代2人、60代2人、80代2人

イ 職員8人（市内3人、市外5人）

【内訳】

性別：男性2人、女性6人

職種：医師1人、看護職員7人

年代：30代2人、40代4人、50代2人

### 3 病院の対応

- ・ 7月29日～
  - ・ 当該入院病棟 A の消毒を実施。
- ・ 8月1日
  - ・ 当該入院病棟 B の消毒を実施。
  - ・ 入院病棟 A 及び B の入院患者及び職員に検査を実施。
  - ・ 感染予防策の強化、徹底。
- ・ 8月2日～
  - ・ 入院病棟 A 及び入院病棟 B の新規入院を休止。
- ・ 8月10日～
  - ・ 入院病棟 A の通常の病院機能を再開。

### 4 市の対応

逐次聞き取り調査を行い、感染状況及びその対応策を協議しました。

感染症法第 16 条第 2 項による個人情報保護の観点から、個人情報については、特定されることのないよう、特段のご配慮をお願いします。また、関係者等への取材はご遠慮ください。